

江戸川区公共施設等総合管理計画

平成29年3月

江戸川区

まえがき

我が国においては、厳しい財政状況の中、国・地方公共団体ともに公共施設等（庁舎や学校、スポーツ施設などの公共建築物、並びに道路、橋、公園などのインフラ資産）の老朽化対策が大きな課題となっている。国はこうした状況を踏まえ、「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」（総財務第74号 平成26年4月22日）において、地方公共団体に対して、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画である「公共施設等総合管理計画」を策定するよう要請している。

本計画は、国の策定要請に基づき、「インフラ長寿命化基本計画」（平成25年11月29日インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を参考に策定した、本区の「公共施設等総合管理計画」である。

目 次

第1章 現況と課題

1 公共施設等の現況と課題	1
(1) 本計画の位置づけ	1
(2) 計画期間	1
(3) 対象施設分類	1
(4) 対象施設の現況	4
2 人口の現況と課題	6
3 財政の現況と課題	8
(1) 江戸川区の財政状況	8
(2) 更新費用・維持補修費用の見通し	10

第2章 計画の方針

1 計画の方針	13
(1) 取組方針	13
(2) 取組体制	14

第3章 施設類型別の基本方針

1 公共建築物	15
(1) 行政系施設	15
(2) 住宅施設	18
(3) 文化・スポーツ系施設	19
(4) 地域施設	22
(5) 福祉施設	25
(6) 子育て支援施設	27
(7) 学校教育施設	30
2 インフラ	35
(1) 道路等	35
(2) 橋梁等	36
(3) 公園等	37
(4) 特定施設	38
(5) 水門等	39

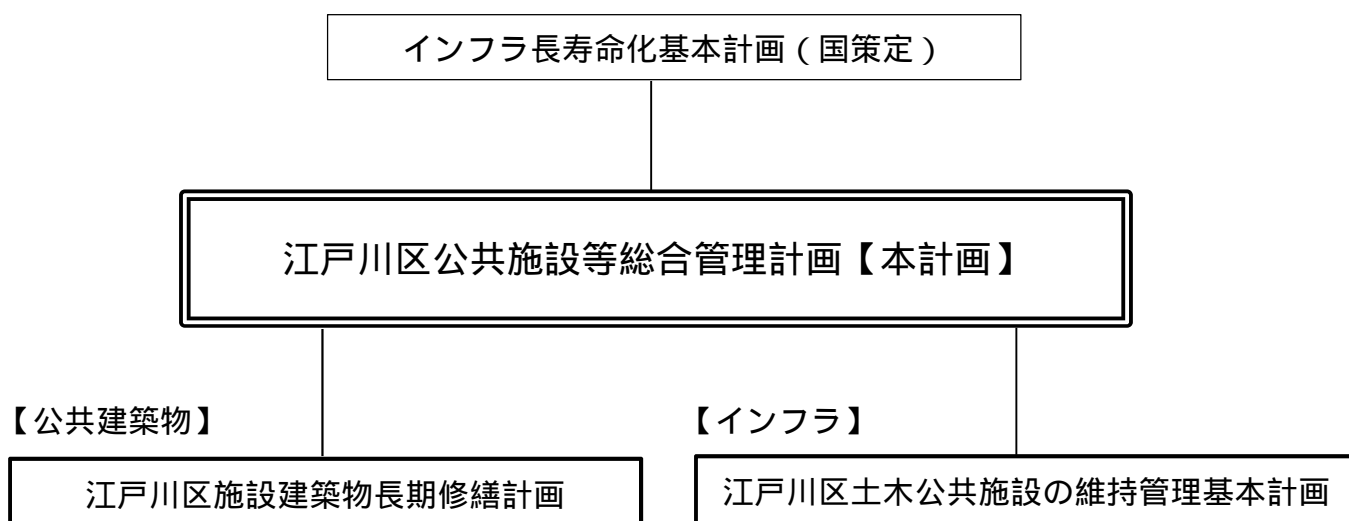
第1章 現況と課題

1 公共施設等の現況と課題

(1) 本計画の位置づけ

本計画は、国のインフラ老朽化対策である「インフラ長寿命化基本計画」の行動計画として、本区の公共施設等の適切な維持管理・更新・長寿命化及び財政負担の平準化に向けた取組方針を示す「江戸川区公共施設等総合管理計画」(以下、「総合管理計画」とする。)である。

また、本計画は、「江戸川区施設建築物長期修繕計画」及び「江戸川区土木公共施設の維持管理基本計画」の上位計画とする。



(2) 計画期間

平成 29 年度を初年度とし、平成 58 年度までの 30 年間を計画期間とする。ただし、取組の進捗状況、情報や知見の蓄積状況を踏まえ、計画期間内であっても必要に応じて適宜見直しを行う。

(3) 対象施設分類

総合管理計画で本区が対象とする公共施設等は、次頁の図表 1 及び図表 2 に示される。なお、本計画は原則として区の所有するすべての公共施設等(庁舎や学校、スポーツ施設等の公共建築物、並びに道路、橋、公園等のインフラ)を対象としているが、民間等から借り受けている施設や、長期的な視点を持った大規模改修や更新、長寿命化の実施がなされない小規模な施設等は対象としていない。

< 図表1 公共建築物 >

施設類型		総量	概要
行政系施設	庁舎	2	本庁舎、第二庁舎
	事務所(区民館)	5	小松川事務所(小松川区民館)、葛西事務所(葛西区民館)、小岩事務所(小岩区民館)、東部事務所(東部区民館)、鹿骨事務所(鹿骨区民館)
	保健所等	9	健康サポートセンター(小岩、東部、清新町、葛西、鹿骨、小松川、なぎさ)、江戸川保健所、口腔保健センター
	清掃事務所	3	小岩清掃事務所、葛西清掃事務所、葛西清掃事務所小松川分室
	防災施設	1	葛西防災施設
住宅施設	区営住宅	4	本一色町第二アパート1号棟・2号棟、江戸川中央一丁目第二アパート、中葛西四丁目アパート
文化・スポーツ系施設	宿泊施設	3	穂高荘、塩沢江戸川荘、ホテルシーサイド江戸川
	文化施設	3	総合区民ホール、総合文化センター、区民センター
	スポーツ施設	7	総合体育館、総合体育館アーチェリー場、スポーツランド、スポーツセンター、陸上競技場、江戸川区球場、臨海球技場第一
	共有プラザ等	7	共有プラザ(小岩、平井、葛西、南小岩、一之江、南篠崎)、子ども未来館
	図書館	6	図書館(中央、小岩、小松川、葛西、西葛西、東部)
地域施設	コミュニティ会館等	27	一之江コミュニティ会館 外 26 施設
	地区会館	48	江戸川五丁目会館 外 47 施設
福祉施設	熟年者施設	7	くすのきカルチャーセンター(中央、小岩、葛西、東部、鹿骨、小松川)、くつろぎの家
	障害者施設	11	希望の家、希望の家新館、虹の家、虹の家新館、みんなの家、えがおの家、さくらの家、福祉作業所、福祉作業所分室、障害者支援ハウス、障害者就労支援センター
子育て支援施設	区立保育園	36	松江保育園 外 35 園
	おひさま保育園	20	葛西おひさま保育園 外 19 園
	育成室	4	小岩育成室、葛西育成室、鹿本育成室、篠崎育成室
学校教育施設	区立幼稚園	2	小松川幼稚園、船堀幼稚園
	区立小学校	71	小松川小学校 外 70 校
	区立中学校	33	小松川第一中学校 外 32 校
	旧区立小学校	2	旧平井第二小学校、旧清新第二小学校
	その他教育施設	7	日光林間学校、西葛西教育相談室、南篠崎教育相談室、ふなぼり学校サポート教室、こいわ学校サポート教室、しのぎき学校サポート教室、ひらい学校サポート教室
合計		318	

< 図表2 インフラ >

施設類型		概要
道路等	車道舗装	7,157,643 m ² (1,055,257m)
	歩道舗装	1,083,939 m ² (426,115m)
	緑道	53,713m
	街路灯	35,779 基
	電線類地中化施設	20,769m
	街路樹	高・中木：53,502 本、株物：960,654 本
橋梁等	橋梁・溝橋	74 橋
	大型カルバート	2 箇所 (小松川第1・第2トンネル)
公園等	公園	区立公園 311 園、児童遊園 136 園、広場 28 園
	親水公園	9,610m
	親水緑道	17,680m
特定施設		14 箇所 (地下駐輪場、機械式駐輪場、小岩駅タクシープール、新川地下駐車場、新左近川親水公園駐車場)
水門等		34 箇所 (開放 16 箇所、閉鎖 18 箇所)

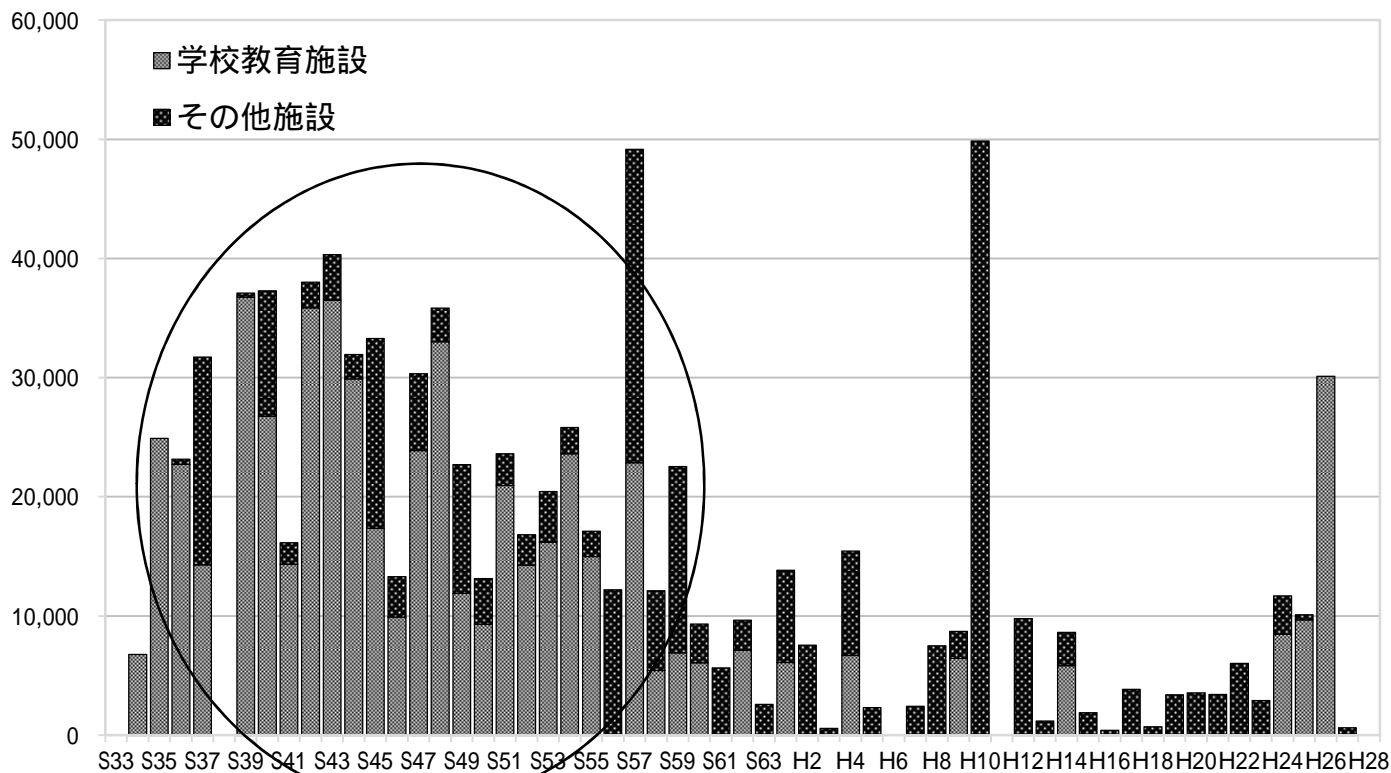
(4) 対象施設の現況

公共建築物の現況

本区の公共建築物の多くは、昭和30年代から昭和50年代に集中して建設され、大部分の施設は建設後30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。建設後60年で更新を行うとすると、図表3に示された建築年ごとの延床面積推移から、大規模な改修や更新の時期が平成30年代から平成50年代の間に訪れることが見込まれる。

<図表3 建築年ごとの公共建築物の延床面積推移>

(m²)



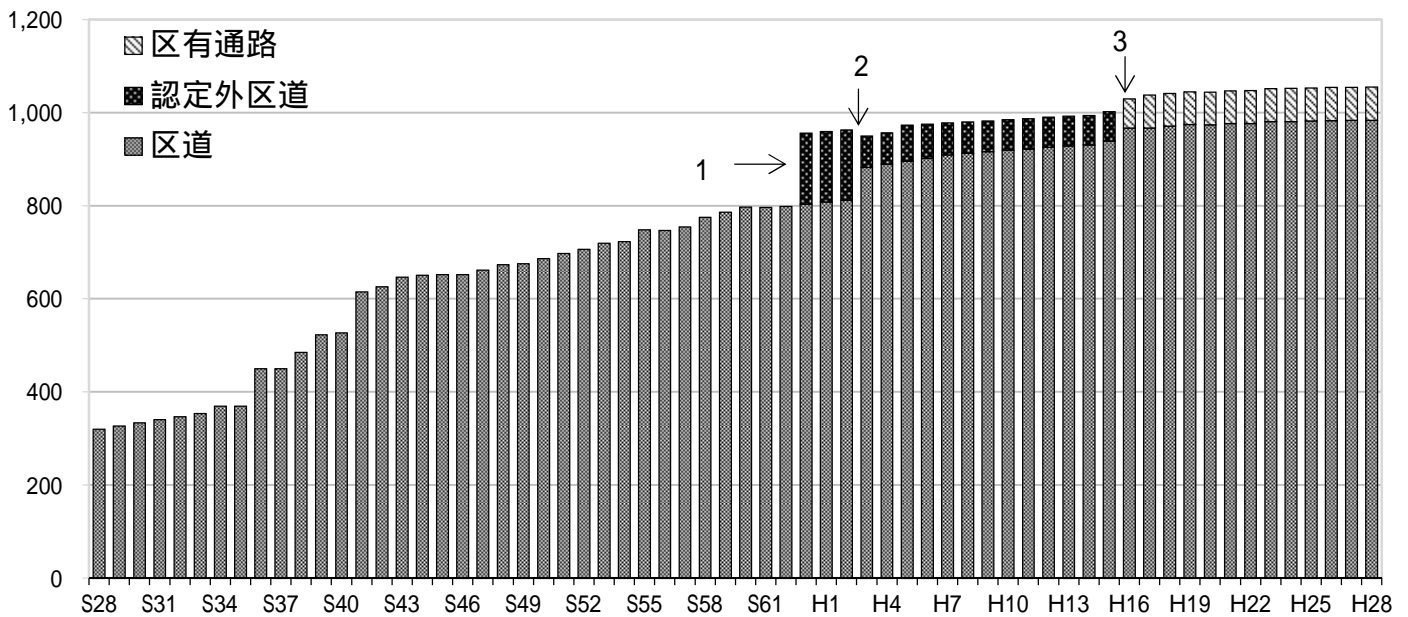
平成30年代から平成50年代にかけて、大規模な改修や更新が必要となる施設

インフラの現況

図表4及び図表5は、区道及び区立公園の施設総量の推移を示しており、総量は一貫して増加傾向にあることがわかる。インフラにかかる費用の中で、区道及び区立公園が占める割合は大きく、総量の増加に応じて維持管理費も増大し、財政的な負担は大きい。また、高度経済成長期からバブル景気にかけて長期間に次々に整備された施設は、経年と共に老朽化が進んでおり、維持管理費は今後さらに増大することが見込まれる。

< 図表4 区道延長の推移 >

(km)



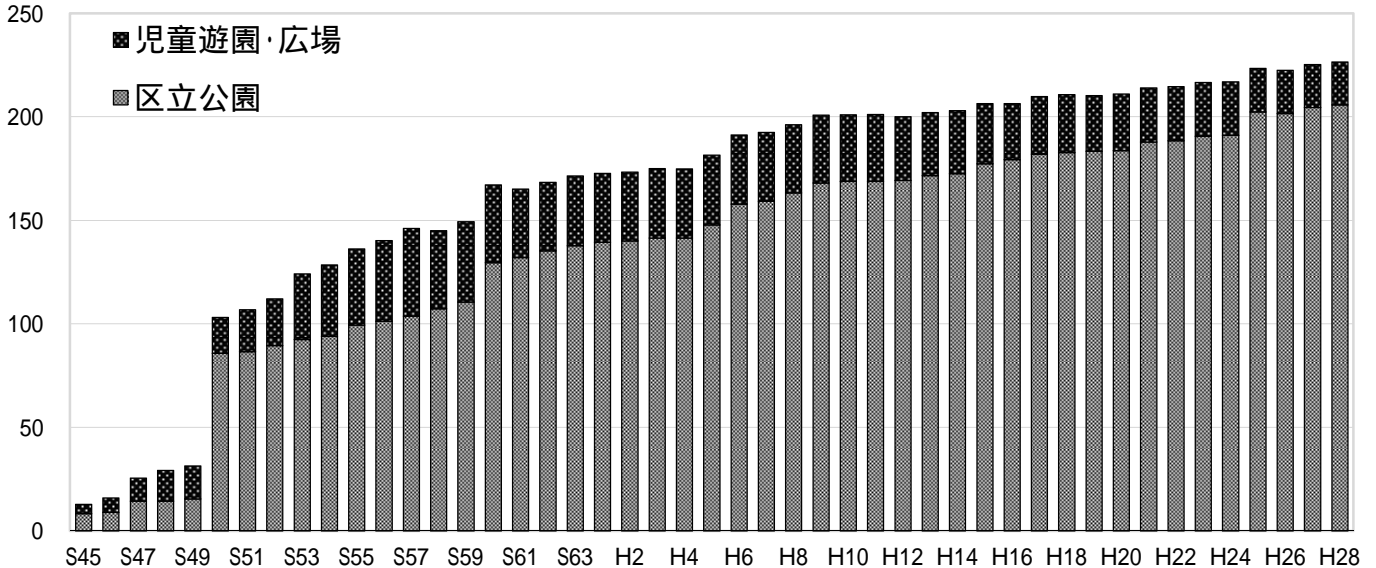
1 認定外区道は昭和 63 年から計上。

2 認定外区道 554 路線を一括認定(H2)

3 認定外区道 (法定外公共物) を区有通路化 (H16)

< 図表5 区立公園面積の推移 >

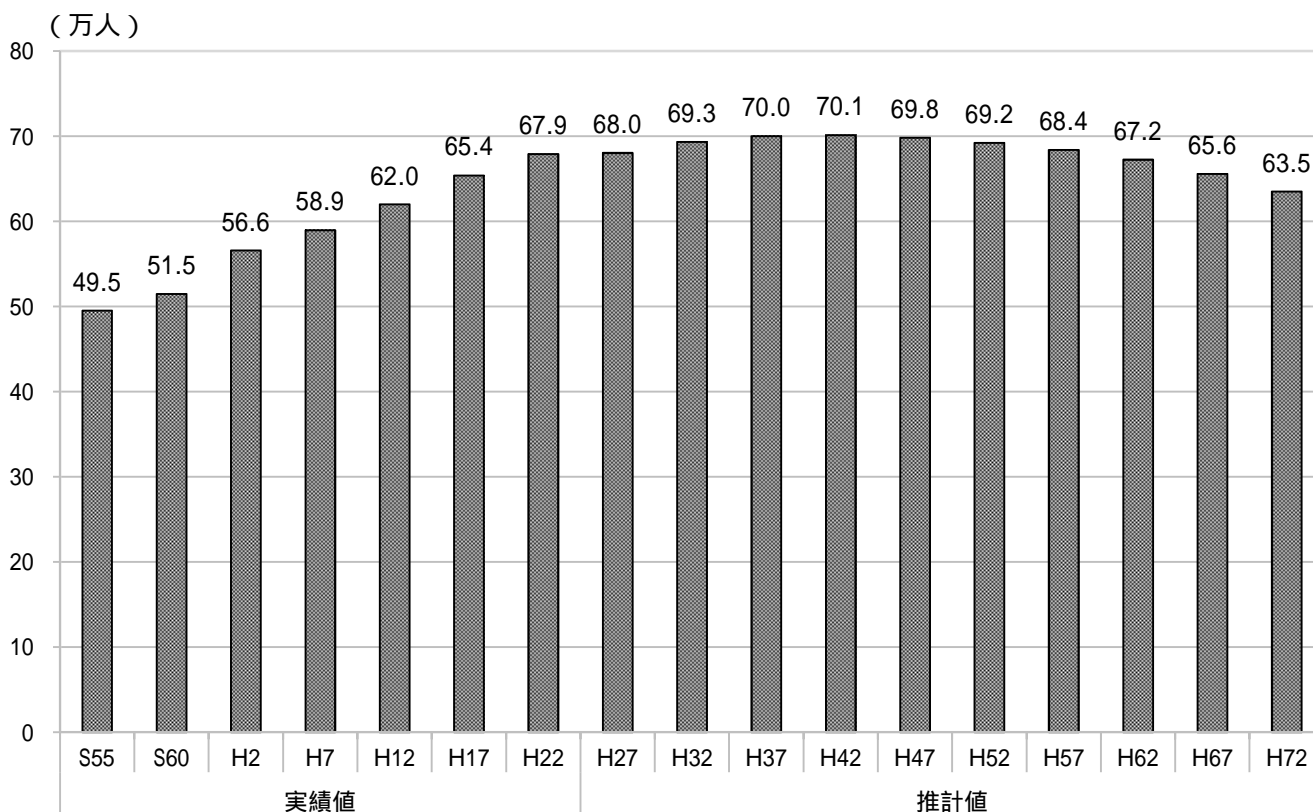
(ha)



2 人口の現況と課題

図表6は平成22年までの本区の人口の推移を示したものである。昭和55年以降、増加基調で推移し、転入超過の状況が継続するとみられるものの、生産年齢人口の減少や老年人口の急増により平成42年の70.1万人をピークに人口減少局面を迎えると推計されている。

<図表6 江戸川区総人口の推計>



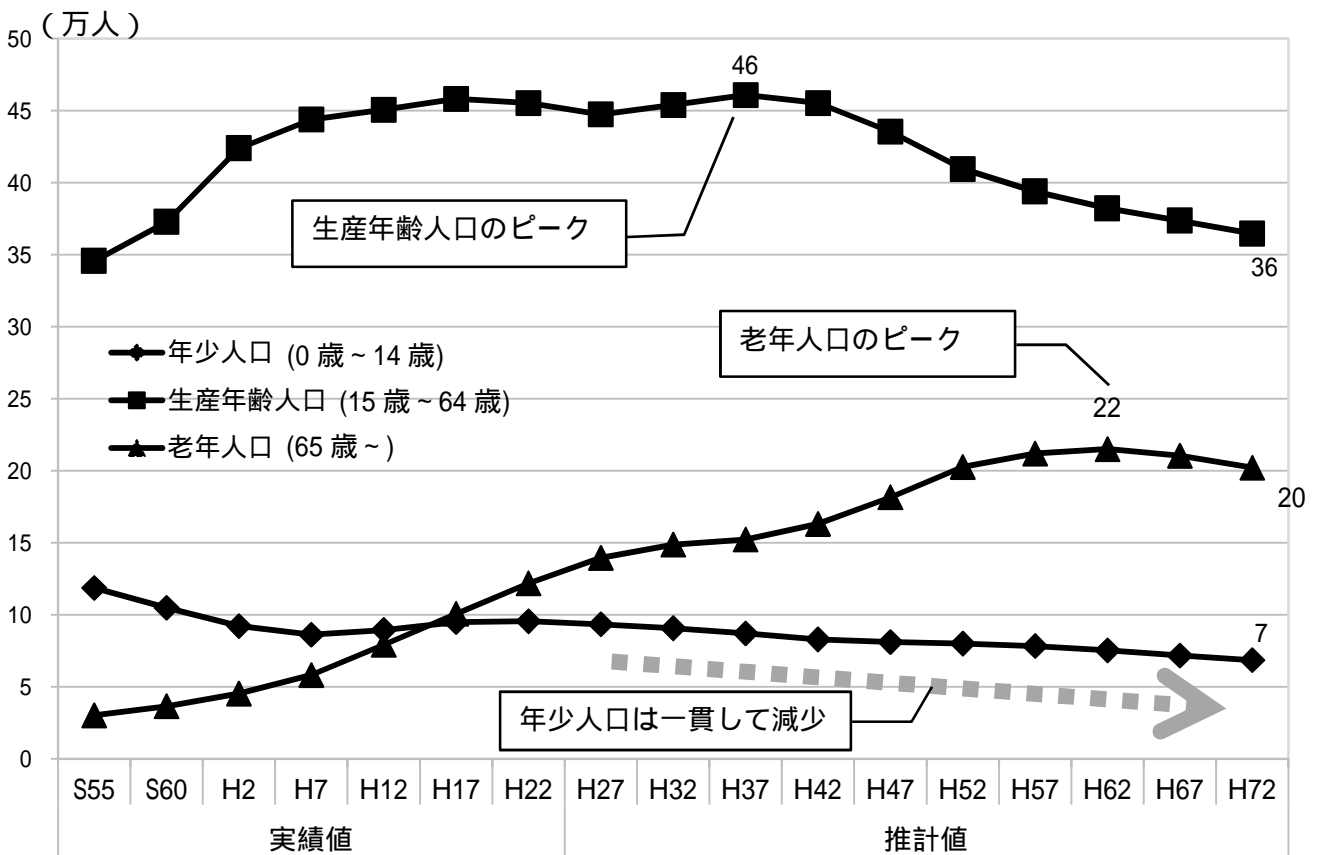
平成22年までの人口は国勢調査実績値

引用：江戸川区人口ビジョン（平成28年3月策定）

図表7は本区の人口構成の推移を示したものである。今後、全人口に占める老年人口の割合は増加を続ける一方、15歳から64歳までの生産年齢人口は平成37年以降に急速に減少する傾向であり、少子高齢化が一段と進むと予想される。

人口の減少や人口構成の変化に伴い、施設の利用形態や利用人数等も変化していく。こうした状況に対応するために、地域の実情を踏まえた公共サービスのあり方の検討が必要となる。

<図表7 江戸川区の年齢区分別人口推移>



平成22年までの人口は国勢調査実績値

引用：江戸川区人口ビジョン（平成28年3月策定）

3 財政の現況と課題

(1) 江戸川区の財政状況

決算規模及び経常収支比率の推移

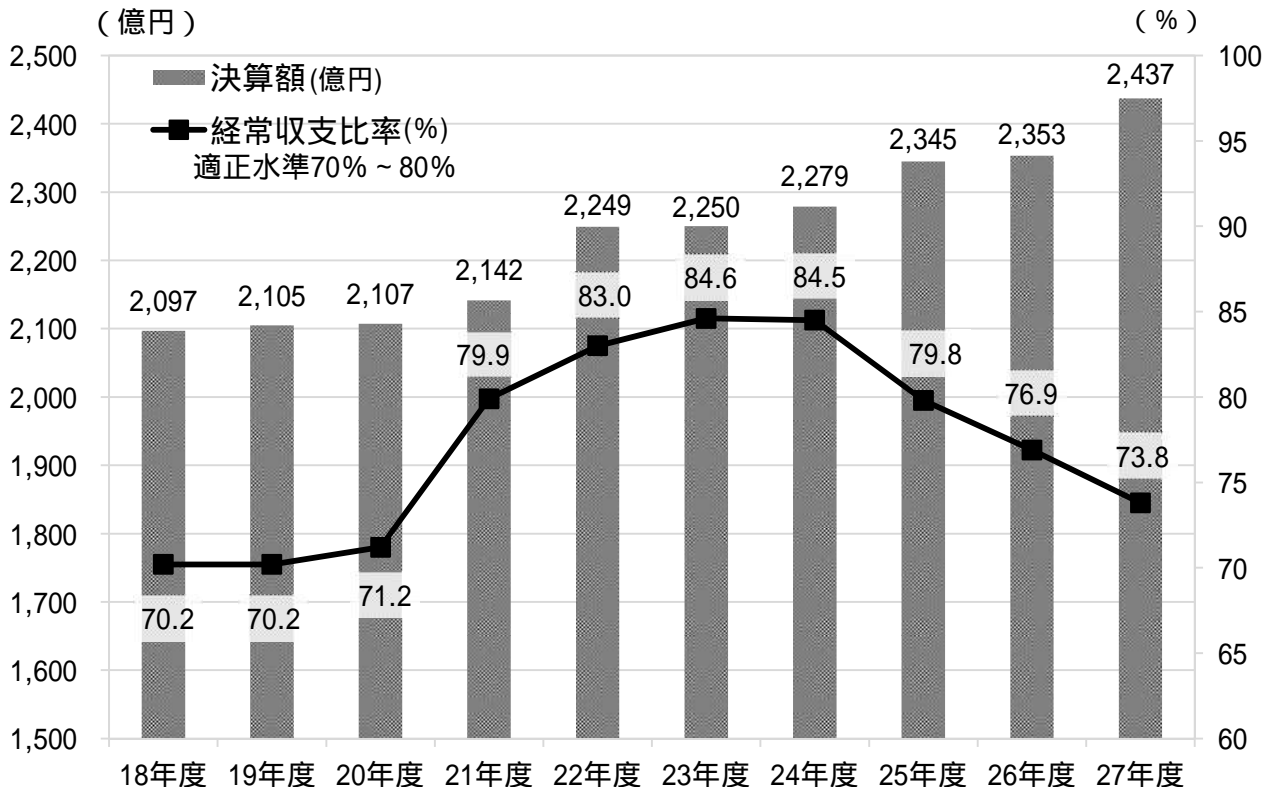
過去10年間の本区の一般会計歳出決算額は一貫して増加しており、平成27年度決算においては、平成18年度と比べて340億円、16.2%増加した。

主な要因は、生活保護や子育て支援などの経費である扶助費の増加によるものである。また、平成21年度からは新たな需要として学校改築事業が開始された。

一方、区財政の弾力性を測る目安となる経常収支比率は、これまでの行財政改革の結果、平成21年度までは適正水準を維持していた。しかしながら、リーマン・ショック後の景気低迷に伴う特別区税の減収等により、適正水準を3年連続で超過する事態が生じ、その後の財政運営に支障をきたす可能性が高まった。

そのため、平成25年度予算編成において216事業の見直しを行ったことをはじめ、より一層の行財政改革に努めており、平成25年度決算以降、再び適正水準を維持している。

< 図表8 一般会計決算額及び経常収支比率の推移 >



財政力指数、基金及び特別区債残高の推移

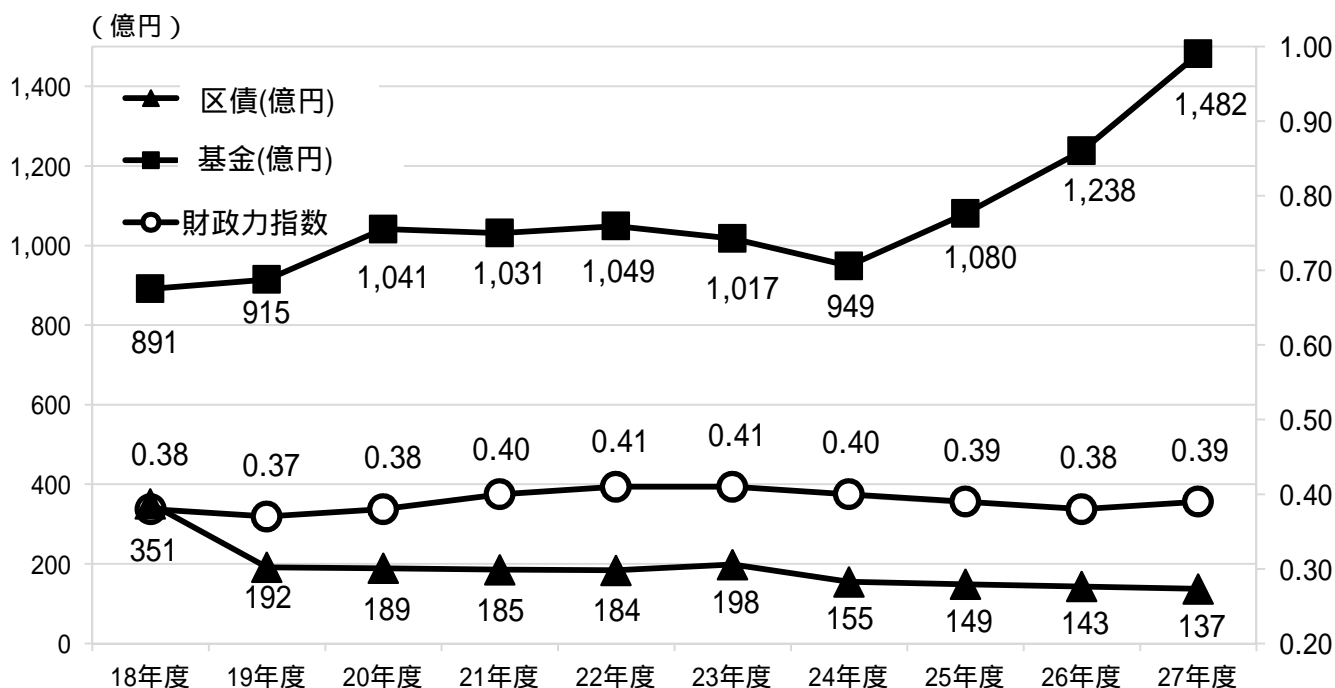
現在の本区の財政は適正水準を維持しているが、学校を始めとした各種公共施設の改築・改修や、JR 小岩駅周辺地区の再開発事業等により、行政需要の増大が見込まれている。

また、税収等の自主財源の割合を示す財政力指数は0.40前後と低い水準で推移している。これは本区の財政が特別区交付金や国や都の補助金などに大きく依存しており、景気の動向や国の税制改正など、外的要因による影響を大きく受けやすいことを示している。

本区ではこれらの情勢変化に対応できるよう、健全財政の堅持を財政運営の基本としており、安定的な区民サービスの提供に努めている。

その一環として基金の積立て及び特別区債残高の管理を適切に行っており、これまでの継続的な取組等により、基金残高は過去最高水準となり、特別区債の残高も低い水準で推移している。

< 図表9 財政力指数、基金及び特別区債残高の推移 >



財政調整基金、教育施設整備基金、JR 小岩駅周辺地区等街づくり基金、大型区民施設及び庁舎等整備基金、災害対策基金、減債基金の年度末合計残高

(2) 更新費用・維持補修費用の見通し

公共建築物の将来負担費用の推計

多くの建築物が昭和30年代から昭和50年代にかけて建設されている。それらが今後、改修・更新時期を迎え、多額の更新費と改修費が必要となる。また、改修費・更新費以外にも、修繕費や維持管理費などのライフサイクルコスト(LCC)が必要になる。

将来負担費用の推計にあたっては、総務省より示された以下のシミュレーション条件に基づき、図表3の建築年ごとの公共施設の延床面積推移を使用して、今後30年間の試算を行った。

<シミュレーション条件>

<図表10 将来負担費用のコスト構成比> (%)

維持更新費	コスト項目	コスト構成比	
更新費	更新費	22.7	22.7
改修費	大規模改修費	13.6	13.6
修繕費	修繕費	9.6	9.6
維持管理費	点検	7.3	54.1
	保守	7.3	
	清掃	10.4	
	警備	8.3	
	消耗品	2.1	
	水道光熱費	18.7	
合計		100.0	100.0

条件 : 今後新たな施設建設は行わない

条件 : 建設後60年で更新を実施する。更新費は建設費と同額とする。単年度に負担が集中しないように建て替え時は費用を3年間に分割する

条件 : 建設後40年で大規模改修を実施する。改修時の費用は2年間に分割する。

条件 : 改修時、更新時の物価変動による再調達価格の変動は含まない。

条件 : 更新費の単価は、総務省の更新費用試算を参考に34万円/m²とする。

条件 : 大規模改修の単価は、一般的な想定値である建設費(更新費)の6割とする。

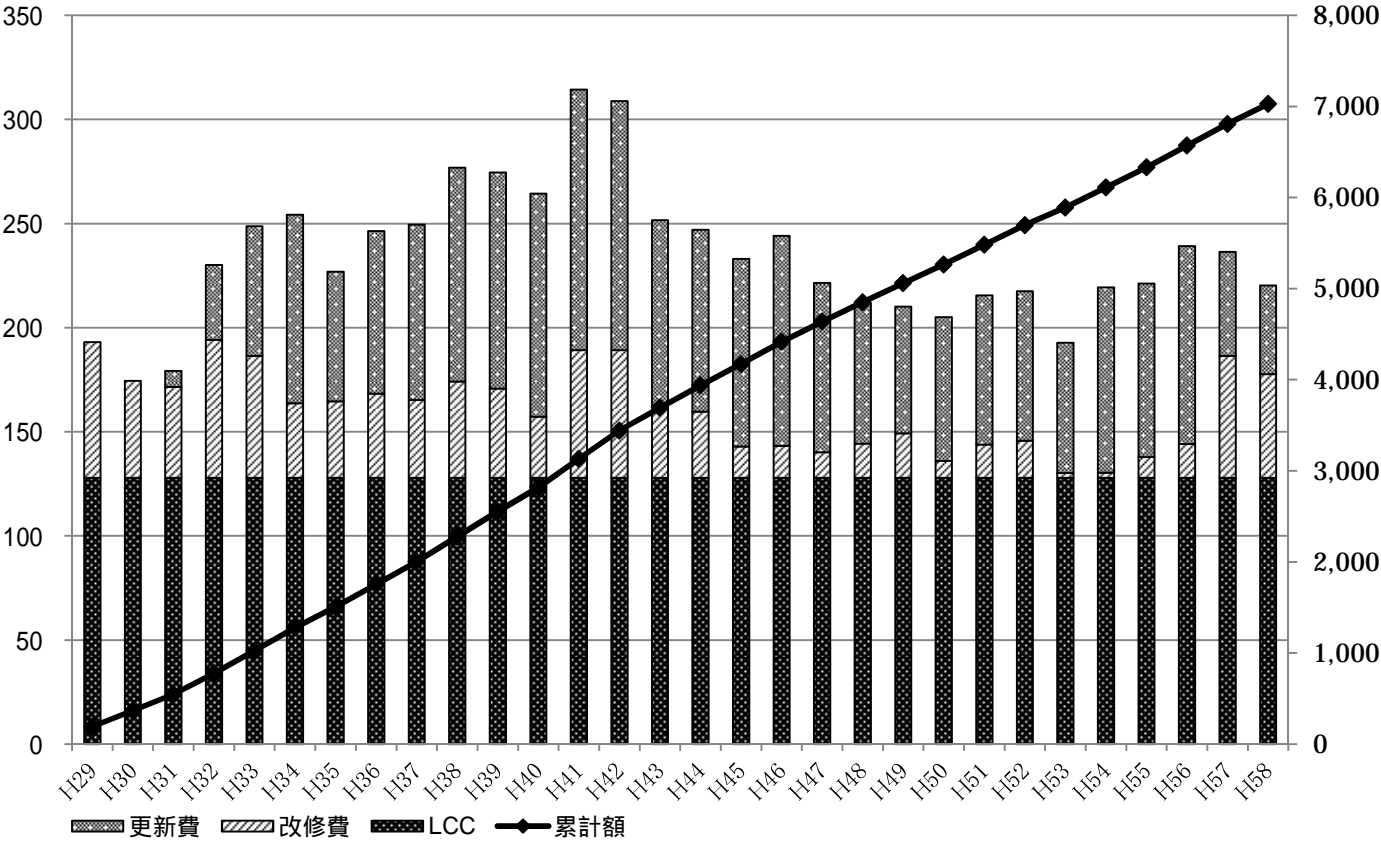
条件 : 60年間の合計(修繕費+維持管理費)は、図表10から建設費の2.8倍とする。

条件 : 修繕費+維持管理費は、建設してから60年間、図表10のコストの1/60が毎年コストとして加算される。

図表11は、前述のシミュレーション条件に基づき、今後30年間の更新費、改修費及びLCC（修繕費＋維持管理費）の試算を行ったものである。30年間の総額は、改修費が約1,001億円、更新費が2,191億円、LCCが4,275億円であり、総額は7,467億円（約249億円/年）である。

<図表11 公共建築物の将来負担費用の推計>
単年度（億円）

累計額（億円）



インフラの将来負担費用の推計

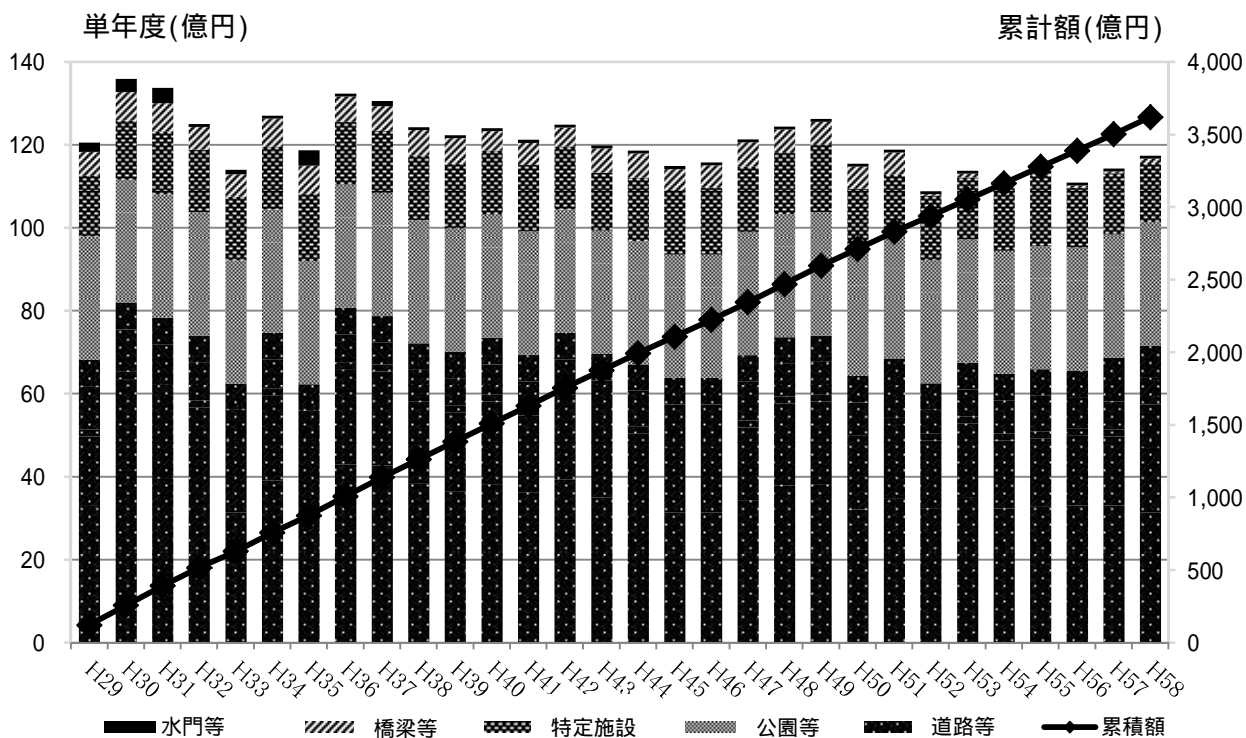
インフラについても同様に、多くが一斉に改修・更新時期を迎えており、それらの維持管理費が今後増大することが見込まれる。

将来負担費用の推計については、施設類型別に近年の実績等から更新サイクル・更新単価等の条件を設定し、今後30年間の維持管理費（維持管理・修繕・更新費）の試算を行った。

図表12は、各インフラについての将来負担費用の試算を行った結果を示しており、今後30年間の総額は約3,619億円（約120億円/年）の見通しである。

また、道路・公園等の新規整備や親水公園等の大規模修繕を考慮すると、維持管理費は今後さらに膨らむことが見込まれる。

<図表12 インフラ資産の将来負担費用の推計>



第2章 計画の方針

1 計画の方針

基本的な考え方

公共施設等は、区民生活及び行政活動の基盤となるものである。将来人口の推移及び年齢構成の変化に伴う公共施設等の需用の変化やまちづくりの動向を踏まえ、施設を適切に維持管理・更新し、長寿命化を行うことで、財政負担を平準化していく。

(1) 取組方針

点検・診断等の実施方針

利用状況等に応じ、劣化や損傷の進行は施設ごとに異なる。各施設の特性を考慮したうえで、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握することが重要である。

全対象施設において点検・診断を実施し、その結果に基づき、適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に必要な対策を実施するとともに、これらの取組を通じて得られた施設の状態や補修履歴等の情報を記録し、次の点検・診断等に活用するメンテナンスサイクルを構築する。

維持管理・修繕・更新等の実施方針

従来、劣化等による故障の度に必要な修繕が事後保全的に行われてきた。今後は、大規模な修繕や更新をできるだけ回避するため、施設特性を考慮のうえ、安全性や財政負担を踏まえつつ、損傷が軽微である早期段階に予防的な修繕等を実施し、機能の保持・回復を図る。

安全確保の実施方針

区民生活及び行政活動の基盤である公共施設等は、利用者の安全を確保したうえで、必要な機能を確実に発揮し続けることが大前提となっている。

外壁の落下、防災設備の故障など利用者の安全の確保に直結するような緊急性の高い場合は早急に対策を行い、施設を安全な状態で維持して、サービスを継続的に提供する。

耐震化の実施方針

公共建築物の多くは、災害時には避難場所等として活用され、被害情報や災害対策指示が行われるなど応急活動の拠点となっており、本区においては、総合的な防災対策を推進して、災害に強いまちづくりを進めている。

区の建物は耐震化を完了しているが、引き続き、平常時の利用者の安全確保だけでなく、災害時の拠点施設としての機能確保の観点からも、防災対策を推進していく。

長寿命化の実施方針

施設の機能の不具合や設備機器の劣化などに対して、すべてを従来のように更新していくことは、大きな財政負担が一時に集中することとなり、非常に困難な状況にある。点検・診断等の実施方針のとおり早期に施設の健全度を把握し、予防的な修繕等の実施を徹底することにより事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図る。

統合や廃止の実施方針

利用状況や周辺環境等の社会情勢に照らして必要性が認められない施設については、議会や地元との調整を十分に図ったうえで、統合・廃止の検討を行う。また、改築にあたっては、類似・重複した機能を有する施設を総合的にとらえ、施設の集約化による機能統合を検討していく。さらに、統廃合・集約化等によって生じる空き施設は、可能な限り用途転用を検討し、既存施設の改築費の抑制を図る。また、有償での売り払いや貸し付けを行うなど、財源確保の手段としての有効活用も検討していく。

PPP および PFI の活用

効率的な施設の運営、維持管理のために、アウトソーシング体制の一環ともいえる PPP / PFI 手法（図表 1 3 参照）等の活用を優先的に検討する。区と民間とでパートナーシップを組むことで、効率的で質の高い公共サービスの提供や、コスト削減の実現につなげることが可能となる。

<参考>

『「多様な PPP/PFI 手法導入を優先的に検討するための指針」について（要請）（府政経シ第 886 号 / 総行地第 154 号 平成 27 年 12 月 17 日）』において、「人口 20 万人以上の地方公共団体等において、一定規模以上で民間の資金・ノウハウの活用が効率的・効果的な事業については、多様な PPP / PFI 手法導入を優先的に検討するよう促す仕組みを構築するとともに、その状況を踏まえつつ、適用拡大していく」とされている。

<図表 1 3 行政と民間とのパートナーシップ>

名 称	内 容
PPP	Public Private Partnership の略。公共サービスの提供に民間が参画する手法を幅広く捉えた概念で、民間資本や民間のノウハウを利用し、公共サービスの効率化や向上を目指すもの。
PFI	Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等にあたり民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することで、公共サービスの効率化や向上を図る公共事業の手法をいう。

(2) 取組体制

江戸川区基本計画をはじめ、関連計画との整合性を確保しつつ、建物施設の改修履歴、点検結果、維持管理経費などの情報を共有しながら、全庁で総合管理計画を推進していく。

また、施設の統廃合や更新等に関しては、利用状況や周辺環境等の社会情勢を踏まえて検討を進めていく。

第3章 施設類型別の基本方針

1 公共建築物

(1) 行政系施設
庁舎

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	本庁舎	17,428.71 m ²				総務課
	(南棟)	7,236.29 m ²	RC造/5F	S37	55	
	(東棟)	4,239.88 m ²	RC造/6F	S45	47	
	(北棟)	1,671.78 m ²	ALC造/3F	S55	37	
	(西棟)	4,280.76 m ²	RC造/5F	S59	33	
2	第二庁舎	1,711.35 m ²	RC造/4F	H4	25	
合 計		19,140.06 m ²				

事務所（区民館）

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	小松川事務所 (小松川区民館)	2,002.78 m ²	RC造/3F	S43	49	小松川事務所
2	葛西事務所 (葛西区民館)	6,655.31 m ²	SRC造/5F	S49	43	葛西事務所
3	小岩事務所 (小岩区民館)	3,677.64 m ²	RC造/4F・1BF	S47	45	小岩事務所
4	東部事務所 (東部区民館)	3,455.35 m ²	RC造/3F	S45	47	東部事務所
5	鹿骨事務所 (鹿骨区民館)	3,194.94 m ²	SRC造/3F	S53	39	鹿骨事務所
合 計		18,986.02 m ²				

保健所等

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	小岩健康センター	2,273.70 m ²	RC造/3F 一部S造	S51	41	生活衛生課
2	東部健康センター	640.23 m ²	RC造/5Fの 3F部分	H8	21	健康サービス課
3	清新町健康センター	1,292.00 m ²	RC造/2F	S58	34	
4	葛西健康センター	737.01 m ²	S造/3F	H18	11	
5	鹿骨健康センター	1,377.24 m ²	RC造/3F	H4	25	
6	小松川健康センター	1,169.42 m ²	RC造/2F	S63	29	
7	なぎさ健康センター	1,241.76 m ²	S造/2F 一部RC造	H9	20	健康推進課
8	江戸川保健所	1,450.08 m ²	RC造/5Fの 1F・2F部分	S46	46	
9	口腔保健センター	438.40 m ²	S造/1F・B1F	H16	13	
合 計		10,619.84 m ²				

清掃事務所

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	小岩清掃事務所	1,445.85 m ²	RC造/4F	S63	29	清掃課
2	葛西清掃事務所	1,828.64 m ²	SRC造/3F	S62	30	
3	葛西清掃事務所 小松川分室	1,586.97 m ²	RC造/4F	S47	45	
合 計		4,861.46 m ²				

防災施設

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	葛西防災施設	2,600.76 m ²	RC造/2F	S59	33	防災危機管理課
合計		2,600.76 m ²				

現状と課題

【現状】

庁舎

- ・本庁舎は全棟が建設後30年以上経過し、老朽化が進んでいる。特に本庁舎南棟は昭和37年に建設され、55年が経過している。
- ・行政サービスの新規拡充等によって庁舎の事務スペースが不足しており、近隣民間ビルの借受により事務スペースを確保している。
- ・区役所分庁舎（生活援護第一課）については、区営住宅（中央一丁目第二アパート）に併設している。

事務所（区民館）

- ・すべての事務所（区民館）が建設後約40年以上経過するなど、老朽化が進んでいる。
- ・区民館では各種行事、サークル活動の増進のため、地域の方々に健全な余暇活動の場と機会を提供している。

保健所等

- ・健康サポートセンターは各種専門スタッフが常駐し、乳幼児等の健診など、様々な健康相談等を定期的に行っており、地域の保健施設としての意義は大きい。また、建設後30年以上経過するなど老朽化が進んでいる。
- ・江戸川保健所は都税事務所との合同庁舎であり、協定書に基づいて、東京都主税局と区それぞれが適切に施設の維持管理を行っている。
- ・口腔保健センターは江戸川区歯科医師会が管理運営を行っており、区唯一の障害者等の歯科診療施設として大きな役割を担っている。

清掃事務所

- ・清掃事務所は、廃棄物の処理及び再利用、その他清掃作業を実施する施設であり、各地域における収集・運搬作業の拠点として、大きな役割を担っている。
- ・葛西清掃事務所小松川分室は江戸川消防署小松川出張所との合同庁舎として、昭和47年に建設され、建設後45年が経過している。
- ・日曜日、年末年始（12/31～1/3）を除き、年間300日以上稼働している。

防災施設

- ・葛西防災施設は昭和59年にプールガーデン（管理棟）として建設されたが、プールガーデンの廃止に伴い、施設改修の上、主に防災備蓄倉庫として運用をしているほか、施設の一部を西葛西テニスコートの事務室や更衣室・トイレ等に利用している。

【課題】

- ・施設職員による巡回をはじめ、定期的な点検を実施しているが、耐用年数の経過した施設については、老朽化が進み、改修が必要な箇所が増加傾向にある。
- ・庁舎や保健所等については、新規事業、事業拡充などによって窓口及び事務スペースが不足しており、プライバシーに十分配慮した窓口の拡充と、事務スペースの確保が必要である。
- ・清掃事務所は、年間300日以上稼働する施設であり、代替施設の確保及び施設の稼働停止を伴う修繕が困難であることから、大規模な修繕等を実施する際には、工期の確保や施工方法等について、十分な検討の上、計画的に実施する必要がある。

管理に関する基本方針

- ・現在実施している定期点検、巡回点検、保守を引き続き確実に実施する。
- ・実施した点検箇所や修繕箇所については引き続き適切に記録・管理し、施設所管部と都市開発部で共有し、今後の維持管理に活用していく。
- ・設備の耐用年数経過による改修や、各種点検結果に基づく改修などについては、施設所管部と都市開発部で連携し、適切な時期に必要な改修工事を行う。
- ・本庁舎については、移転に関する今後の動向を注視しながら維持管理にあたる。
- ・清掃事務所（分室を含む）は、平成12年度に東京都から20年間の用途指定のもと譲渡されており、平成31年度末に指定期間が終了するため、施設のあり方について、今後の動向を注視しながら、適切な維持管理を行い、現状の機能を維持していく。

(2) 住宅施設

区営住宅

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	本一色町第二 アパート(1号棟)	952.51 m ²	RC造/3F	S57	35	住宅課
2	本一色町第二 アパート(2号棟)	610.59 m ²	RC造/3F	S59	33	
3	江戸川中央一丁目第二 アパート	856.81 m ²	RC造/3F	S62	30	
4	中葛西四丁目アパート	2,110.83 m ²	RC造/5F	S55	37	
合計		4,530.74 m ²				

現状と課題

【現状】

区営住宅

- ・区営住宅は、公営住宅法に基づき低所得者を対象とした住宅であり、住宅困窮者への住宅供給に大きな役割を担っている。
- ・全棟が建設後30年以上経過し、老朽化が進んでいる。(平成14年度に都より移管)
- ・本一色町第二アパート2号棟については地区会館を併設、中央一丁目第二アパートについては、区役所分庁舎(生活援護第一課)を併設している。

【課題】

- ・施設の老朽化に伴い、耐用年数の経過による改修が必要な設備等の増加が見込まれる。

管理に関する基本方針

- ・中長期的な維持管理を行うにあたり、江戸川区営住宅長寿命化計画に基づいて、計画的に修繕を実施し、耐久性の向上、修繕周期の延長などによりライフサイクルコストの削減を図る。
- ・現在実施している定期点検等を引き続き確実に実施する。
- ・実施した点検結果や補修履歴等については、引き続き適切に記録・管理し指定管理者と共有して今後の維持管理に活用していく。

(3) 文化・スポーツ系施設

宿泊施設

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	穂高荘	5,216.07 m ²	RC造/7F	S51	41	文化課
2	塩沢江戸川荘	3,955.74 m ²	RC造/3F	S63	29	
3	ホテルシーサイド江戸川	5,563.92 m ²	SRC造/4F	H1	28	
合計		14,735.73 m ²				

文化施設

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	総合区民ホール	44,707.85 m ²	SRC造/7F	H10	19	文化課
2	総合文化センター	16,495.77 m ²	SRC造/4F	S57	35	
3	区民センター	9,318.65 m ²	RC造/6F	S40	52	
合計		70,522.27 m ²				

スポーツ施設

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	総合体育館	8,390.24 m ²	RC造/4F	S45	47	スポーツ振興課
2	総合体育館 アーチェリー場	1,895.60 m ²	S造/2F	H22	7	
3	スポーツランド	6,225.65 m ²	SRC造/2F	S57	35	
4	スポーツセンター	11,029.74 m ²	SRC造 5F/B1F	S56	36	
5	陸上競技場	7,124.30 m ²	RC造/3F	S59	33	
6	江戸川区球場	4,200.15 m ²	RC造/3F	S59	33	
7	臨海球技場第一	493.98 m ²	RC造/2F	H1	28	
合計		39,359.66 m ²				

共育プラザ等

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	共育プラザ小岩	2,231.02 m ²	RC造/4F	S48	44	健全育成課
2	共育プラザ平井	1,661.59 m ²	RC造/3F	S49	43	
3	共育プラザ葛西	1,698.12 m ²	RC造/3F	S52	40	
4	共育プラザ南小岩	2,047.09 m ²	RC造/4F	S44	48	
5	共育プラザー之江	1,916.90 m ²	RC造/3F	S46	46	
6	共育プラザ南篠崎	1,690.00 m ²	RC造/4F	S50	42	
7	子ども未来館	1,546.10 m ²	S造/3F	H22	7	
合計		12,790.82 m ²				

図書館

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	中央図書館	7,500.00 m ²	SRC造/4F	H12	17	文化課
2	小岩図書館	2,932.80 m ²	RC造/4F	H23	6	
3	小松川図書館	1,209.18 m ²	RC造/3F	S47	45	
4	葛西図書館	1,550.55 m ²	RC造/3F	S49	43	
5	西葛西図書館	2,341.85 m ²	SRC造/3F	H5	24	
6	東部図書館	2,000.97 m ²	RC造/2F	H22	7	
合 計		17,535.35 m ²				

現状と課題

【現 状】

宿泊施設

- ・穂高荘は区の友好都市である長野県安曇野市に位置し、交流の拠点として役割を担っている。
- ・穂高荘、塩沢江戸川荘はキャンプ場や農園、大浴場等を備えており、区民健康施設として利用者は多い。
- ・ホテルシーサイド江戸川は、都内唯一の区立ホテルとして区内外問わず利用者が多く大手旅行会社にて行われた「東京の人気ホテル・旅館ランキング」にて常に上位にランクインするなど、区のイメージアップにも大きく貢献している。

文化施設

- ・各施設ともに利用者は多く、区民の文化活動の場として大きな役割を担っている。
- ・総合文化センターは1,500席の大ホールを有しており、区内外の有名アーティストや音楽団体に利用されるほか、歌舞伎・落語等を通じ、伝統文化の振興に寄与している。
- ・総合区民ホールは、イベントホールを多く備えており、大規模なコンベンション等が開催されるなど、区のイメージアップにも大きく貢献している。
- ・区民センターは、教育研究所等の行政施設を併設している。また、文化施設としてだけでなく、会議室や集会室を有する地域施設としての幅広い役割を果たし、多くの区民に利用されている。

スポーツ施設

- ・体育館やプール、スタジオや健康ルームなど多様な施設を備え、老若男女を問わず利用者が多く、気軽に運動を行う場として、区民の健康増進に寄与している。
- ・質の高い競技施設を活かして、広域大会や国際試合等のレベルの高い競技大会を多く開催するなど、区のイメージアップにも大きく貢献している。

共育プラザ等

共育プラザ

- ・乳幼児から高校生までの幅広い世代の子どもを対象とした施設である。中高生支援事業を実施しており、中高生の活動拠点として施設の意義は大きい。また、子育て支援事業である子育てひろばの需要は高い。
- ・保育園や福祉施設との複合施設であり、維持管理に関しては、各施設が調整しながら実施している。

子ども未来館

- ・数多くの企業や公益法人、大学との連携及び区民ボランティアの協力により、幅広い分野のプログラムを実施しており、利用者数、講座数共に増加している。
- ・学校教育以外の学びの場として、自然や宇宙、生き物や歴史、ものづくりなど、子どもたちの身の回りにある不思議や驚きを、体験しながら探究する施設は全国的にも類例がなく、区のイメージアップに大きく貢献している。

図書館

- ・図書資料の閲覧や貸出のほか、子ども向けのお話会や体験型イベント、大人向けの歴史講座や作家講演会などを開催しており、利用者は多い。

【課題】

- ・施設の老朽化に伴い、耐用年数の経過による改修が必要な設備が多く、今後の維持補修費の増大が予想されるほか、数年後に大規模な改修が必要になる。
- ・日常点検や定期点検等は確実に実施しているが、目視では点検できない部分がある。
- ・文化施設については、通常の大規模な設備改修に加え、大小ホールの照明や舞台張替などの舞台関係工事、特定天井改修工事など、施設特有の改修も必要である。
- ・共育プラザは児童館を改修した施設であり、中高生が利用するにあたっては、階段や天井の高さなど設備面での課題がある。

管理に関する基本方針

- ・現在実施している定期点検、巡回点検を引き続き確実に実施する。
- ・実施した点検箇所や修繕箇所については引き続き適切に記録・管理し、今後の維持管理に活用するとともに、施設設備の異常の早期発見につなげていく。
- ・利用者の安全確保に必要な点検は確実に実施するとともに、必要があれば追加するなど引き続き安全管理を徹底していく。
- ・スポーツ施設については、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、引き続きユニバーサルデザインの考え方に立ち、利用者に配慮した施設環境を整えていく。
- ・総合区民ホール及び総合文化センターは大型かつ高機能を有する施設であるため、施設単体での長期修繕計画を作成し、実施計画の検討に入る必要がある。作成にあたっては、施設所管部と都市開発部で連携しながら検討を進めていく。
- ・区民センター、総合体育館及び共育プラザなどの数年後に耐用年数を迎える施設については、施設のあり方を含めた今後の動向を注視しながら維持管理にあたる。

(4) 地域施設

コミュニティ会館等

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	一之江コミュニティ会館	1,153.79 m ²	RC造/2F	S61	31	区民課
2	松江コミュニティ会館	1,747.43 m ²	RC造/3F/1BF	H4	25	
3	コミュニティプラザー之江 1	1,117.93 m ²	S造/5F/4F部分	H14	15	
4	松江区民プラザ	2,599.29 m ²	RC造/3F	H19	10	
5	平井コミュニティ会館	1,549.43 m ²	RC造/2F	S58	34	小松川 事務所
6	小松川区民施設(小松川さくらホール)	5,173.63 m ²	SRC造/6F	H10	19	
7	中平井コミュニティ会館	1,669.23 m ²	RC造/2F・1BF	H21	8	
8	勤労福祉会館	2,183.14 m ²	RC造/3F/1BF	S50	42	葛西 事務所
9	南葛西会館	1,205.40 m ²	RC造/5F	S56	36	
10	清新町コミュニティ会館 2	2,898.66 m ²	SRC造/11F/1・2Fの一部	S58	34	
11	臨海町コミュニティ会館 3	2,176.50 m ²	SRC造/11F/1・2Fの一部	H1	28	
12	二之江コミュニティ会館	1,752.80 m ²	RC造/2F	H4	25	
13	北葛西コミュニティ会館	1,491.50 m ²	S造/2F	H7	22	
14	新田コミュニティ会館	960.47 m ²	S造/2F	H7	22	
15	東葛西コミュニティ会館	3,871.91 m ²	SRC造/3F	H17	12	小岩 事務所
16	長島桑川コミュニティ会館	2,498.13 m ²	RC造/3F・1BF	H22	7	
17	上一色コミュニティセンター	1,336.44 m ²	重量鉄骨造/2F	S54	38	
18	西小岩コミュニティ会館	956.37 m ²	RC造/3F	S58	34	
19	小岩アーバンプラザ	7,583.44 m ²	SRC造/3F・1BF	H2	27	
20	南小岩コミュニティ会館	1,035.45 m ²	S造/3F	H9	20	東部 事務所
21	北小岩コミュニティ会館	1,896.60 m ²	S造/3F	H15	14	
22	瑞江コミュニティ会館	379.93 m ²	RC造/2F	S51	41	
23	東部フレンドホール	5,415.76 m ²	SRC造/5F・1BF	H8	21	鹿骨 事務所
24	江戸川コミュニティ会館 4	811.57 m ²	RC造/2F	H19	10	
25	篠崎コミュニティホール 5	604.83 m ²	SRC造/5F/5Fの一部	H3	26	地域 振興課
26	篠崎コミュニティ会館	1,468.93 m ²	S造/3F	H8	21	
27	新川さくら館	433.04 m ²	W造/1F	H24	5	
合 計		55,971.60 m ²				

- 1 コミュニティプラザー之江は民間建物の一部を使用
- 2 清新町コミュニティ会館は公社住宅の一部を使用
- 3 臨海町コミュニティ会館は公社住宅の一部を使用
- 4 江戸川コミュニティ会館は民間建物を使用
- 5 篠崎コミュニティホールは民間建物の一部を使用

地区会館

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	江戸川五丁目会館	119.24 m ²	木造モルタル/2F	S48	44	地域振興課
2	平井五丁目会館	89.71 m ²	木造モルタル/2F	S48	44	
3	三島会館	119.24 m ²	木造モルタル/1F	S49	43	
4	宇喜田三角会館	104.34 m ²	木造モルタル/2F	S50	42	
5	中葛西四丁目会館	70.51 m ²	SRC 造/1F	S51	41	
6	船堀一丁目会館	73.30 m ²	木造モルタル/2F	S52	40	
7	一之江中央会館	93.10 m ²	木造モルタル/2F	S53	39	
8	篠崎三丁目仲町会館	109.88 m ²	木造モルタル/2F	S53	39	
9	南葛西仲町会館	111.54 m ²	木造モルタル/1F	S54	38	
10	松江四丁目原会館	119.81 m ²	木造モルタル/2F	S54	38	
11	西葛西八丁目会館	44.40 m ²	ブロック造/2F	S54	38	
12	中央五南会館	168.57 m ²	木造モルタル/2F	S56	36	
13	西葛西七丁目会館	165.32 m ²	木造モルタル/2F	S56	36	
14	平井会館	235.62 m ²	S 造/2F	S57	35	
15	瑞江会館	230.80 m ²	S 造/2F	S57	35	
16	上一色南会館	241.76 m ²	S 造/2F	S58	34	
17	北葛西一丁目会館	106.86 m ²	木造モルタル/2F	S59	33	
18	五分一会館	227.05 m ²	S 造/2F	S59	33	
19	本一色会館 6	184.59 m ²	RC 造/1F	S59	33	
20	中央東四会館	223.45 m ²	S 造/2F	S60	32	
21	南小岩司会館	229.65 m ²	S 造/2F	S60	32	
22	東小松川南会館	245.38 m ²	S 造/2F	S60	32	
23	鹿骨一丁目会館	187.16 m ²	S 造/2F	S61	31	
24	江上会館	203.34 m ²	S 造/2F	S61	31	
25	松島南会館	240.85 m ²	S 造/2F	S62	30	
26	東小松川二丁目会館	180.43 m ²	S 造/2F	S62	30	
27	平井七丁目会館 7	200.46 m ²	RC 造/1F	H63	29	
28	下小岩会館	134.14 m ²	S 造/2F	H1	28	
29	下鎌田会館	270.00 m ²	S 造/2F	H1	28	
30	船堀一丁目公団会館	90.25 m ²	軽量鉄骨造/1F	S58	28	
31	船堀六丁目会館	193.44 m ²	S 造/2F	H1	28	
32	新町会館	102.97 m ²	S 造/3F	H1	28	
33	南小岩四丁目中曽根会館	274.18 m ²	S 造/2F	H2	27	
34	長島会館	235.25 m ²	S 造/2F	H2	27	
35	松島西会館	270.00 m ²	S 造/2F	H3	26	
36	新堀会館	192.51 m ²	軽量鉄骨造/2F	H4	25	
37	明和橋会館	120.54 m ²	S 造/2F	H4	25	

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
38	東葛西雷会館	180.00 m ²	軽量鉄骨造/2F	H4	25	地域振興課
39	一之江会館	88.72 m ²	軽量鉄骨造/2F	H5	24	
40	西小岩三丁目会館	172.18 m ²	軽量鉄骨造/2F	H7	22	
41	一之江六丁目会館	116.64 m ²	軽量鉄骨造/2F	H8	20	
42	松島東会館	272.16 m ²	軽量鉄骨造/2F	H9	19	
43	江戸川一丁目会館	163.54 m ²	軽量鉄骨造/2F	H11	18	
44	南篠崎会館	307.60 m ²	軽量鉄骨造/2F	H12	17	
45	南小岩会館	161.60 m ²	軽量鉄骨造/2F	H13	16	
46	椿中央会館	324.60 m ²	S造/2F	H19	10	
47	西小岩会館	91.32 m ²	ブロック造/2F	H21	8	
48	平井東会館	76.31 m ²	W造/2F	H24	5	
合 計		8,164.31 m ²				

6 本一色会館は、区営住宅の一部を使用

7 平井七丁目会館は、都営住宅の一部を使用

現状と課題

【現 状】

コミュニティ会館等

- ・各種行事、サークル活動の増進のため、地域の方々に健全な余暇活動の場と機会を提供している。

地区会館

- ・地域住民で構成された運営協議会が施設運営を行うことにより、地域住民の福祉の増進及びコミュニティの形成に寄与している。

【課 題】

- ・コミュニティ会館等については、建物の老朽化に伴い、今後も長期的な視野で計画的に改修工事等を実施していく必要がある。
- ・地区会館については、老朽化による改修工事、利用者の高齢化によるバリアフリー工事等、各会館の状況をよく見極め、優先順位を決めて整備していく必要がある。

管理に関する基本方針

- ・現在実施している定期点検、巡回点検を引き続き着実に実施する。
- ・実施した点検箇所や修繕箇所については引き続き適切に記録・管理し、今後の維持管理に活用するとともに、指定管理者及び委託業者と共有して施設設備の異常の早期発見につなげていく。

(5) 福祉施設

熟年者施設

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	中央くすのきカルチャーセンター	1,706.57 m ²	RC造/3F	S60	32	福祉推進課
2	小岩くすのきカルチャーセンター	680.72 m ²	SRC造/2F	S61	31	
3	葛西くすのきカルチャーセンター	1,181.56 m ²	RC造/2F	S62	30	
4	東部くすのきカルチャーセンター ₁	393.00 m ²	RC造/4F	S47	45	
5	鹿骨くすのきカルチャーセンター ₁	338.00 m ²	RC造/4F	S49	43	
6	小松川くすのきカルチャーセンター ₁	392.00 m ²	RC造/4F	S38	54	
7	くつろぎの家	1,802.70 m ²	SRC造/2F	S62	30	
合 計		6,494.55 m ²				

1 東部、鹿骨、小松川くすのきカルチャーセンターは小学校内に併設。

障害者施設

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	希望の家	1,453.51 m ²	RC造/2F	S61	31	障害者福祉課
2	希望の家新館	2,246.79 m ²	S造/3F	H24	5	
3	虹の家	1,397.25 m ²	RC造/2F	S56	36	
4	虹の家新館	601.08 m ²	軽鉄造/2F	H16	13	
5	みんなの家	2,175.06 m ²	RC造/2F	H4	25	
6	えがおの家	2,305.69 m ²	S造/3F	H12	17	
7	さくらの家	1,200.00 m ²	S造/3F	H20	9	
8	福祉作業所	816.43 m ²	RC造/2F	S45	47	
9	福祉作業所分室 ₂	374.58 m ²	RC造/4F	S48	44	
10	障害者支援ハウス	1,597.22 m ²	RC造/3F	S60	32	
11	障害者就労支援センター	1,969.05 m ²	RC造/3F	S42	50	
合 計		16,136.66 m ²				

2 福祉作業所分室は、共育プラザ小岩に併設。

現状と課題

【現状】

熟年者施設

- ・くすのきカルチャーセンターは区内各所に計6箇所設置しており、様々なカルチャー教室を実施し、利用者は多く、熟年者の文化活動の場として大きな役割を担っている。
- ・くつろぎの家は、多様な施設を備えており、一年を通して利用者が多く、熟年者のいいの場として利用されている。

障害者施設

- ・障害者総合支援法に定められたサービスを行う障害者施設であり、利用者の働く場、知識や能力向上のための訓練の場、生活介護、短期入所を行う場など幅広い役割を持ち、利用者の生活の場として大きな役割を担っている。
- ・地域の理解、協力のもと、連携しながら施設の行事や、地域開放を行っている。
- ・施設の半数が利用定員90名を超える大規模施設である。
- ・障害者施設の需要は高く、特に生活介護事業を行う施設については、定員超過となる可能性がある。

【課題】

- ・委託業者や指定管理者による施設巡回をはじめ、定期的な施設点検を実施しているが、施設の老朽化に伴い、耐用年数の経過による改修が必要な設備が多く、数年後に大規模な改修工事が必要になる。
- ・日常点検や定期点検等は確実に実施しているが、目視では点検できない部分がある。
- ・障害者施設は、グループホームやショートステイの併設などによって24時間稼働する施設もあり、設備の摩耗や、施設の劣化が激しい。
- ・代替施設の確保及び施設の閉館を伴う修繕が困難であることから、一部補修などの対症療法的な対応をしなければならず、結果的に非効率な維持補修になることがある。

管理に関する基本方針

- ・現在実施している定期点検、巡回点検を引き続き確実に実施する。
- ・実施した点検箇所や修繕箇所については引き続き適切に記録・管理し、委託業者や指定管理者と共有して、今後の維持管理に活用していく。
- ・くつろぎの家については、江戸川清掃工場の建替えによる熱源供給の停止や、近隣のスーパー堤防化を踏まえた今後の動向を注視しながら維持管理にあたる。
- ・障害者施設については、利用者の障害の状況等によって、設備改善を随時行っていく。

(6) 子育て支援施設
区立保育園

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	松江保育園	432.01 m ²	RC造/1・2F	S35	57	保育課
2	平井保育園	638.20 m ²	RC造/1・2F	S41	51	
3	小岩保育園	343.00 m ²	S造/1F	S39	53	
4	東篠崎保育園	1,375.51 m ²	S造/1・2F	H20	9	
5	今井保育園	583.07 m ²	RC造/1・2F	S41	51	
6	船堀保育園	657.20 m ²	RC造/1・2F	S42	50	
7	江戸川二丁目保育園	2 828.70 m ²	SRC造/1F(14F)	H20	9	
8	大杉保育園	1 654.43 m ²	RC造/1・2F(3F)	S43	49	
9	南小岩保育園	1 742.42 m ²	RC造/1・2F(4F)	S44	48	
10	南松島保育園	3 1,395.70 m ²	RC造/1F(3F)	S45	47	
11	南平井保育園	2 782.87 m ²	SRC造/1F(6F)	S45	47	
12	一之江第一保育園	1 756.25 m ²	RC造/1・2F(3F)	S46	46	
13	西小岩保育園	599.51 m ²	RC造/1・2F(3F)	S48	44	
14	宇喜田保育園	2 757.10 m ²	SRC造/1F(12F)	S49	43	
15	西平井保育園	1 629.30 m ²	RC造/1・2F(3F)	S49	43	
16	小島保育園	2 502.54 m ²	SRC造/1F(14F)	S49	43	
17	船堀第二保育園	2 498.16 m ²	SRC造/1F(10F)	S50	42	
18	南篠崎保育園	1 696.00 m ²	RC造/1・2F(3F)	S50	42	
19	新田保育園	2 648.68 m ²	SRC造/1F(12F)	S50	42	
20	堀江保育園	2 734.75 m ²	SRC造/1F(14F)	S51	41	
21	春江第二保育園	2 730.60 m ²	SRC造/1F(12F)	S51	41	
22	宇喜田第二保育園	2 655.94 m ²	SRC造/1・2F(11F)	S51	41	
23	堀江第二保育園	2 789.27 m ²	SRC造/1F(12F)	S51	41	
24	平井第二保育園	2 500.96 m ²	SRC造/1F(12F)	S53	39	
25	船堀第三保育園	2 796.58 m ²	SRC造/1F(14F)	S54	38	
26	新田第二保育園	2 688.61 m ²	SRC造/1F(13F)	S54	38	
27	堀江第三保育園	2 783.72 m ²	SRC造/1F(14F)	S54	38	
28	南篠崎第二保育園	2 679.39 m ²	SRC造/1F(14F)	S55	37	
29	東葛西保育園	2 689.31 m ²	SRC造/1F(12F)	S56	36	
30	清新第一保育園	2 843.61 m ²	SRC造/1F(14F)	S57	35	
31	清新第三保育園	2 845.99 m ²	SRC造/1F(10F)	S57	35	
32	臨海第一保育園	2 802.24 m ²	SRC造/1F(14F)	S62	30	
33	臨海第二保育園	2 842.94 m ²	SRC造/1F(14F)	S63	29	
34	小松川第二保育園	2 834.44 m ²	RC造/1・2F	H8	21	
35	南篠崎第三保育園	2 894.02 m ²	RC造/1・2F	H10	19	
36	小松川第三保育園	2 788.16 m ²	S造/1F	H20	9	
合計		26,421.18 m ²				

- 1 他施設併設（延床面積は保育園分のみ。階数は「使用階数（建物階数）」を記載
- 2 住棟下（延床面積は保育園分のみ
- 3 そよ風松島荘分を含む。

おひさま保育園

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	葛西おひさま保育園	937.37 m ²	S造/2F	H13	16	子育て支援課
2	新堀おひさま保育園	745.72 m ²	S造/2F	H13	16	
3	東小松川おひさま保育園	1,153.10 m ²	RC造/2F	S43	49	
4	鹿骨おひさま保育園	931.85 m ²	RC造/3F	S48	44	
5	北葛西おひさま保育園	1,223.67 m ²	S造/3F	H12	17	
6	葛西第二おひさま保育園	709.30 m ²	RC造/2F	S62	30	
7	東小岩おひさま保育園	922.62 m ²	RC造/3F	S50	42	
8	春江おひさま保育園	1,153.85 m ²	RC造/2F (一部S造)	S50	42	
9	西篠崎おひさま保育園	992.00 m ²	S造/2F	H20	9	
10	松江おひさま保育園	865.42 m ²	S造/2F	S51	41	
11	西小岩おひさま保育園	1,035.77 m ²	S造/2F	S52	40	
12	松本おひさま保育園	991.49 m ²	S造/2F	H20	9	
13	小松川おひさま保育園	4 865.78 m ²	RC造/1F(11F)	S63	29	
14	清新おひさま保育園	967.76 m ²	RC造/2F	S59	33	
15	南葛西おひさま保育園	4 797.66 m ²	SRC造/1F(13F)	S60	32	
16	西葛西おひさま保育園	840.46 m ²	S造/2F	S53	39	
17	中葛西おひさま保育園	975.49 m ²	S造/2F	H23	6	
18	松島おひさま保育園	577.38 m ²	RC造/2F	S40	52	
19	清新第二おひさま保育園	4 868.75 m ²	SRC造/1F(14F)	S57	35	
20	北小岩おひさま保育園	772.50 m ²	S造/2F	H20	9	
合計		18,327.94 m ²				

4 住棟下（延床面積は保育園分のみ。階数は「使用階数（建物階数）」を記載）

育成室

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	小岩育成室	5 470.08m ²	RC造/1F(3F)	S48	44	保育課
2	葛西育成室	5 471.20m ²	RC造/1F(3F)	S52	40	
3	鹿本育成室	1,407.58m ²	RC造/1・2F	S40	52	
4	篠崎育成室 6	1,189.63m ²	RC造/1・2F	S47	45	
合計		3,538.49 m ²				

5 他施設併設（延床面積は育成室分のみ。階数は「使用階数（建物階数）」を記載）

6 平成29年12月開設予定

現状と課題

【現状】

区立保育園

- ・区立保育園は、小松川地区に6園、中央地区に4園、葛西地区に16園、小岩地区に3園、東部地区に7園が設置されている。
- ・昭和35年度に建設された松江保育園を筆頭に、建設後50年以上5園、40年以上16園となっている。
- ・認可保育園への入園希望者は多く、保護者の就労や、病気などのため家庭で保育が困難な乳幼児の保育をする施設として区立保育園は大きな役割を担っている。

おひさま保育園

- ・おひさま保育園は、中央地区に4園、小松川地区に1園、葛西地区に9園、小岩地区に3園、鹿骨地区に3園位置している。
- ・昭和40年度に建設された松島おひさま保育園を筆頭に、建設後50年以上1園、築40年以上6園となっている。
- ・区立からの運営変更後も需要は高く、この傾向は当分の間続くものと予想され、区立園と同様に大きな役割を担っている。

育成室

- ・育成室は、中央地区、葛西地区、小岩地区にそれぞれ1施設位置しており、平成29年12月には、東部地区に1施設開設予定である。
- ・昭和40年度に建設された鹿本育成室を筆頭に、建設後50年以上1施設、40年以上が3施設となっている。
- ・入室希望者は多く、児童の障害の状況に応じて発達を支援し、その児童と家族の福祉の向上を図る上で、育成室は大きな役割を担っている。

【課題】

- ・建設後50年を超える施設は、現在は7施設だが、今後10年で全体の半数以上となる為、築年数や老朽度、保育需要等を見極め、計画的な維持補修を行う必要がある。

管理に関する基本方針

- ・現在実施している定期点検、巡回点検を引き続き確実に実施するとともに、その結果を適切に記録・管理して今後の維持管理に活用していく。
- ・区立保育園は老朽化が進み、近いうちに耐用年数を迎えるものも多いが、保育需要の高まりによる待機児童問題等の動向を注視しながら、適切に維持管理を行っていく。
- ・中長期的な視点で年少人口の減少を考慮し、施設のあり方について検討を進めていく。

(7) 学校教育施設
区立幼稚園

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	船堀幼稚園	1,537.00 m ²	RC造/2F	S42	50	学校施設 担当課
2	小松川幼稚園	957.00 m ²	RC造/2F	S45	47	
合計		2,494.00 m ²				

区立小学校

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	小松川小学校	5,945.00 m ²	RC造/3F	S36	56	学校施設 担当課
2	小松川第二小学校	7,699.46 m ²	RC造/4F	H8	21	
3	平井小学校	5,309.00 m ²	RC造/3F	S41	51	
4	平井西小学校	4,105.00 m ²	RC造/4F	S41	51	
5	平井東小学校	4,473.00 m ²	RC造/3F	S37	55	
6	平井南小学校 1	5,471.00 m ²	RC造/4F	S38	54	
7	松江小学校	8,482.00 m ²	RC造/4F	H24	5	
8	西一之江小学校	5,134.00 m ²	RC造/4F	S43	49	
9	第二松江小学校	4,003.00 m ²	RC造/3F	S34	58	
10	西小松川小学校	5,199.00 m ²	RC造/4F	S41	51	
11	大杉小学校	4,820.00 m ²	RC造/4F	S42	50	
12	大杉第二小学校	5,141.00 m ²	RC造/4F	S49	43	
13	第三松江小学校	8,133.57 m ²	RC造/4F	H29	0	
14	大杉東小学校	5,020.00 m ²	RC造/3F	S40	52	
15	東小松川小学校	5,175.00 m ²	RC造/3F	S38	54	
16	船堀小学校	8,979.52 m ²	RC造/4F	H26	3	
17	船堀第二小学校	7,367.00 m ²	RC造/4F	S43	49	
18	葛西小学校 2	5,949.00 m ²	RC造/3F	S39	53	
19	二之江小学校	5,744.00 m ²	RC造/4F	S41	51	
20	二之江第二小学校	4,839.00 m ²	RC造/4F	S48	44	
21	二之江第三小学校	4,485.00 m ²	RC造/4F	S52	40	
22	第二葛西小学校	9,707.75 m ²	RC造/4F	H25	4	
23	第三葛西小学校	5,634.00 m ²	RC造/3F	S39	53	
24	第四葛西小学校	5,677.20 m ²	RC造/4F	S44	48	
25	第五葛西小学校	6,231.00 m ²	RC造/3F	S45	47	
26	第六葛西小学校	7,296.00 m ²	RC造/4F	S49	43	
27	第七葛西小学校	6,258.00 m ²	RC造/4F	S50	42	
28	南葛西小学校	5,994.00 m ²	RC造/4F	S53	39	
29	南葛西第二小学校	5,775.56 m ²	RC造/4F	S56	36	
30	南葛西第三小学校	7,159.00 m ²	RC造/4F	S63	29	
31	西葛西小学校	6,785.00 m ²	RC造/4F	S54	38	
32	新田小学校	5,461.00 m ²	RC造/4F	S55	37	
33	宇喜田小学校	5,637.00 m ²	RC造/3F	S57	35	

No	施設名	延床面積	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課	
34	清新第一小学校	6,381.00 m ²	RC造/3F	S57	35	学校施設 担当課	
35	清新ふたば小学校	7,693.00 m ²	RC造/4F	S58	34		
36	臨海小学校	8,448.00 m ²	RC造/3F	H3	26		
37	東葛西小学校	7,113.00 m ²	RC造/3F	H13	16		
38	瑞江小学校	7,093.00 m ²	RC造/3F	S42	50		
39	春江小学校	9,487.00 m ²	RC造/3F	H26	3		
40	新堀小学校	4,934.00 m ²	RC造/4F	S55	37		
41	下鎌田小学校	5,345.00 m ²	RC造/3F	S33	59		
42	下鎌田東小学校	4,862.05 m ²	RC造/4F	S46	46		
43	下鎌田西小学校 3	6,481.00 m ²	RC造/4F	S47	45		
44	江戸川小学校	4,721.00 m ²	RC造/3F	S42	50		
45	一之江小学校	5,880.00 m ²	RC造/3F	S39	53		
46	一之江第二小学校	6,158.06 m ²	RC造/4F	S43	49		
47	鹿本小学校	4,491.00 m ²	RC造/3F	S44	48		
48	鹿骨小学校	4,878.00 m ²	RC造/3F	S38	54		
49	鹿骨東小学校	5,436.00 m ²	RC造/4F	S50	42		
50	松本小学校	4,763.00 m ²	RC造/4F	S47	45		
51	本一色小学校	4,937.00 m ²	RC造/3F	S42	50		
52	篠崎小学校	6,085.00 m ²	RC造/3F	S38	54		
53	篠崎第二小学校	5,251.00 m ²	RC造/3F	S41	51		
54	篠崎第三小学校	8,376.06 m ²	RC造/4F	H29	0		
55	篠崎第四小学校 4	5,755.85 m ²	RC造/4F	S49	43		
56	篠崎第五小学校	4,604.00 m ²	RC造/4F	S50	42		
57	南篠崎小学校	5,570.00 m ²	RC造/4F	S51	41		
58	鎌田小学校	4,743.00 m ²	RC造/3F	S40	52		
59	小岩小学校	5,127.00 m ²	RC造/3F	S35	57		
60	東小岩小学校	4,149.00 m ²	RC造/4F	S44	48		
61	下小岩小学校	4,056.00 m ²	RC造/3F	S34	58		
62	下小岩第二小学校	4,900.00 m ²	RC造/4F	S38	54		
63	上小岩小学校	4,790.00 m ²	RC造/3F	S39	53		
64	上小岩第二小学校	4,177.00 m ²	RC造/4F	S44	48		
65	西小岩小学校	5,789.00 m ²	RC造/4F	S41	51		
66	上一色小学校	2,979.00 m ²	RC造/4F	S41	51		
67	上一色南小学校	6,381.07 m ²	RC造/4F	S47	45		
68	南小岩小学校	4,518.00 m ²	RC造/3F	S38	54		
69	南小岩第二小学校	6,375.00 m ²	RC造/4F	S40	52		
70	中小岩小学校	5,268.00 m ²	RC造/4F	S38	54		
71	北小岩小学校	4,532.00 m ²	RC造/4F	S47	45		
合 計		411,616.15 m ²					

- 1 平井南小学校は一部を小松川くすのきカルチャーセンターが使用
- 2 葛西小学校は改築事業に伴い仮設校舎を使用
- 3 下鎌田西小学校は一部を東部くすのきカルチャーセンターが使用
- 4 篠崎第四小学校は一部を鹿骨くすのきカルチャーセンターが使用

区立中学校

No	施設名	延床面積 ^{m²}	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	小松川第一中学校	4,839.00 m ²	RC 造/4F	S35	57	学校施設 担当課
2	小松川第二中学校 (夜間)	7,407.75 m ²	RC 造/4F	S37	55	
3	小松川第三中学校	6,686.00 m ²	RC 造/4F	S37	55	
4	松江第一中学校	8,389.88 m ²	RC 造/4F	S42	50	
5	松江第二中学校	6,661.00 m ²	RC 造/4F	S35	57	
6	松江第三中学校	6,588.00 m ²	RC 造/4F	S36	56	
7	松江第四中学校	7,915.00 m ²	RC 造/4F	S48	44	
8	松江第五中学校	9,133.67 m ²	RC 造/5F	H26	3	
9	松江第六中学校	6,124.00 m ²	RC 造/4F	S50	42	
10	二之江中学校	7,349.00 m ²	RC 造/4F	S52	40	
11	葛西中学校 5	7,665.00 m ²	RC 造/4F	S36	56	
12	葛西第二中学校	5,852.00 m ²	RC 造/4F	S41	51	
13	葛西第三中学校	7,442.00 m ²	RC 造/4F	S47	45	
14	南葛西中学校	5,893.00 m ²	RC 造/4F	S53	39	
15	南葛西第二中学校	7,386.00 m ²	RC 造/4F	S60	32	
16	西葛西中学校	8,010.00 m ²	RC 造/5F	S54	38	
17	東葛西中学校	7,219.00 m ²	RC 造/5F	S56	36	
18	清新第一中学校	7,054.00 m ²	RC 造/4F	S57	35	
19	清新第二中学校	8,277.00 m ²	RC 造/4F	S61	31	
20	瑞江中学校	6,241.00 m ²	RC 造/4F	S42	50	
21	瑞江第二中学校	6,517.00 m ²	RC 造/4F	S40	52	
22	瑞江第三中学校	6,439.00 m ²	RC 造/4F	S47	45	
23	春江中学校	5,899.00 m ²	RC 造/4F	S51	41	
24	鹿本中学校	7,073.00 m ²	RC 造/4F	S43	49	
25	鹿骨中学校	6,706.00 m ²	RC 造/4F	S52	40	
26	篠崎中学校	8,525.00 m ²	RC 造/4F	S43	49	
27	篠崎第二中学校	6,912.00 m ²	RC 造/4F	S50	42	
28	小岩第一中学校	7,131.00 m ²	RC 造/4F	S35	57	
29	小岩第二中学校	7,676.00 m ²	RC 造/4F	S36	56	
30	小岩第三中学校	8,618.00 m ²	RC 造/4F	S47	45	
31	小岩第四中学校	6,245.00 m ²	RC 造/4F	S43	49	
32	小岩第五中学校	6,787.24 m ²	RC 造/4F	S46	46	
33	上一色中学校	6,622.00 m ²	RC 造/4F	S36	56	
合 計		233,282.54 m ²				

5 葛西中学校は改築事業に伴い仮校舎を使用

旧区立小学校

No	施設名	延床面積㎡	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	旧平井第二小学校	4,867.00 ㎡	RC 造/4F	S52	40	学校施設 担当課
2	旧清新第二小学校	7,434.00 ㎡	RC 造/3F	S57	35	
合 計		12,301.00 ㎡				

その他教育施設

No	施設名	延床面積㎡	構造/階数	竣工年度	経過年数	所管課
1	日光林間学校	6,810.28 ㎡	RC 造/3F	S50	42	学務課
2	西葛西教育相談室	519.88 ㎡	鉄骨造/3F	S55	37	教育 研究所
3	南篠崎教育相談室	132.91 ㎡	SRC 造/1F(14F) 6	S55	37	
4	ふなぼり 学校サポート教室	150.06 ㎡	SRC 造/1F(14F) 6	S62	30	
5	こいわ 学校サポート教室	110.00 ㎡	鉄骨造/2F	S50	42	
6	しのざき 学校サポート教室	214.90 ㎡	鉄骨造/1F	S46	46	
7	ひらい 学校サポート教室	252.00 ㎡	RC 造/2F	S50	42	
合 計		8,190.03 ㎡				

6 住棟下（延床面積は当該施設分のみ。階数は「使用階数（建物階数）」を記載）

現状と課題

【現 状】

区立幼稚園

- ・老朽化した施設の大規模な改修工事を行い、教育環境の向上・建物の安全性確保・耐用年数の延命化を図っている。対象施設は建設・改修後の経過年数等を基準とし、老朽度、保守点検結果等を検討して優先順位の高いものから実施している。

及び 区立小学校・区立中学校

- ・学校施設全体の老朽化が進んでいる。
- ・「学校施設改築の基本的な考え方について - 第一次報告 - 」に基づき、概ね建設後 50 年以上経過した学校を対象とし、順次改築を進めている。
- ・老朽化した学校施設の大規模な改修工事を行い、教育環境の向上・建物の安全性確保・耐用年数の延命化を図っている。対象施設は建築・改修後の経過年数等を基準とし、老朽度、保守点検結果等を検討して優先順位の高いものから実施している。

旧区立小学校

- ・旧区立小学校施設については、平井第二小学校は貸与中、清新第二小学校は葛西中学校仮校舎として使用しており、今後も活用が予定されている。

その他教育施設

- ・日光林間学校は昭和 50 年に建設され、建設後 42 年が経過している。校外学習施設としての役割を担っている。
- ・教育相談室は、教育上の悩みをもつ児童・生徒と保護者等を対象に相談活動を行い、悩みの解消を支援することを目的とした施設である。
- ・学校サポート教室は、不登校児童・生徒が通室し、適応指導や学習支援及び体験学習等を通じて、集団での協調性や自主性を育成し、学校復帰できるよう支援することを目的とする施設である。

【課題】

- ・施設の老朽化に伴って、耐用年数の経過による改修が必要な設備が多く、改修を要する箇所が増加が見込まれる。
- ・区立幼稚園については、今後の施設のあり方を踏まえながら、適切な改修工事を実施する必要がある。
- ・区立小学校・区立中学校においては、改築事業・大規模改修工事を実施するにあたり、学校適正配置の考え方を視野に入れて、検討する必要がある。
- ・日光林間学校については、繁忙期に設備不良等が発生した場合、大規模な補修工事等ができないため、一部補修などの対症療法的な対応をせまられ、計画的な設備改修が課題となっている。

管理に関する基本方針

- ・現在実施している定期点検、巡回点検、保守を定期的に行う。
- ・実施した点検箇所や修繕箇所については、引き続き適切に記録・管理し、今後の維持管理に活用していく。
- ・区立幼稚園、区立小学校、区立中学校については、施設管理者である学校と施設所管部である教育委員会とが、施設の状態を把握できるよう連携していく。
- ・その他教育施設については、建設後40年以上経過した施設も多いため、今後の動向を注視しながら、適切に維持管理を行っていく。

2 インフラ

(1) 道路等

No	施設名	総量	竣工年度	経過年数	所管課
1	車道舗装	7,157,643 m ² (1,055,257m)	-	-	保全課
2	歩道舗装	1,083,939 m ² (426,115m)	-	-	
3	緑道	53,713m	-	-	
4	街路灯	35,779 基	-	-	
5	電線類地中化施設	20,769m	-	-	
6	街路樹	高・中木：53,502 本 株物：960,654 本	-	-	水とみどりの課

現状と課題

【現状】

- ・エリア別の管理委託等により日常点検、維持管理を実施している。
- ・維持管理経費縮減のため、管理業務委託の導入や管理水準の見直し等、様々な取組みを行い、施設の安全性・快適性の確保と財政負担軽減の両立を図っている。

【課題】

- ・管理水準が全体的に高く、維持補修工事も非常に多くなっており、現在の水準を維持し続けることは財政的な負担が大きく困難である。

管理に関する基本方針

- ・道路、街路灯、街路樹の民間管理委託を今後も実施し、不具合箇所の早期発見と迅速な対応に努め、安全で快適な道路環境を継続的に確保する。点検結果は記録・蓄積し、維持管理・修繕等に活用する。
- ・過去に高品質材料・特注品等を使用した施設は、原則、更新時に廉価で汎用性が高い材料・製品に交換する。
- ・計画的な予防保全型の修繕・更新を行いLCCの縮減を図るため、「道路長寿命化修繕計画」を策定する。

(2) 橋梁等

No	施設名	総量	竣工年度	経過年数	所管課
1	橋梁・溝橋	74 橋	S6	86	保全課
2	大型カルバート	2 箇所	H10	19	
合計		76 施設			

竣工年度は最も古い施設

現状と課題

【現 状】

- ・管理委託による日常点検、職員による年次点検、専門技術者による定期点検を実施している。
- ・平成 19 年度より計画的に耐震補強工事を実施している。
- ・橋梁の急速な老朽化に対応するため、「江戸川区橋梁長寿命化修繕計画」を平成 23 年度に策定し、予防保全のための修繕及び計画的な更新を実施。平成 28 年度には、専門技術者による定期点検の結果を反映し、計画の改定を行った。

【課 題】

- ・新中川橋梁は、順次新設・架け替えを行ってきているが、供用開始から 50 年以上が経過している橋梁は、適切な時期に将来の整備方針を示していく必要がある。
- ・過去に高品質材料・特注品等を使用した高欄や歩道舗装等が老朽化し改修の必要がある。

管理に関する基本方針

- ・日常点検、年次点検、5 年に 1 回の定期点検を今後も実施し、不具合箇所の早期発見と迅速な対応に努め、安全で快適な道路機能を継続的に確保する。点検結果は記録・蓄積し、維持管理・修繕等に活用する。
- ・過去に高品質材料・特注品等を使用した高欄や歩道舗装等は、原則、更新時に廉価で汎用性が高い材料・製品に交換する。
- ・これまで行ってきた耐震対策を引き続き進め、道路橋示方書における道路橋の重要度に応じた耐震性能の確保を図る。
- ・「江戸川区橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な予防保全型の修繕・更新を行うことで安全性の確保と延命に取り組み、合わせて LCC 縮減と維持管理予算の平準化を図る。

(3) 公園等

No	施設名	総量	竣工年度	経過年数	所管課
1	公園	区立公園：311園	S25	67	水とみどりの課
		児童遊園：136園	S25	67	
		広場：28園	S44	48	
2	親水公園	9,610m	S48	44	保全課
3	親水緑道	17,680m	S63	29	
合計		-			

竣工年度は最も古い施設

現状と課題

【現 状】

- ・平成28年度より管理業務の効率化及び緊急時対応態勢強化を目的とし、公園及び街路樹管理委託の一元化を図った。
- ・予防保全型の管理による安全確保、維持管理費の予算の平準化を目的として、「江戸川区公園施設長寿命化計画」を平成25年度に策定し、計画的に修繕・更新を実施している。

【課 題】

- ・同時期に整備された公園施設・遊具等が一斉に更新時期を迎える。
- ・公園に求められる機能が時代の移り変わりと共に変化し、多様化している。
- ・公園関連予算は公園数の増大に伴い、土木事業費に占める割合も年々増加しており、将来的に持続可能な維持管理を実現するためには、より効率的・効果的な取組が不可欠である。
- ・親水公園・親水緑道は、様々な施設の老朽化が進んでいるため大規模修繕が必要であるが、既に多くの生物や植生が繁殖しており、良好な景観を形成していることから、現在の環境を維持するための計画的な維持管理についての検討が必要である。

管理に関する基本方針

- ・民間管理委託により定期的に点検・清掃し、不具合箇所の早期発見と迅速な対応に努め遊具の破損等による事故を未然に防止し、安全で快適な公園機能を継続的に確保する。
- ・公園施設は、不具合発生時の施設へのサービスへの影響や利用者の安全性等を踏まえ、施設の性質を考慮した予防保全型・事後保全型の区分けをして維持管理・補修を行う。
- ・現行の「江戸川区公園施設長寿命化計画」は、都市公園235箇所のみが対象のため、計画策定から5年を目途に、全公園を対象とした長寿命化計画に改定する。その後も適宜、点検結果、補修実績を長寿命化計画に反映させることで、計画の実現を図っていく。
- ・親水緑道、親水公園は今後も良好な環境を保全していくために、「親水公園・親水緑道長寿命化計画」を策定し、維持管理に関する具体的な方針を定め、計画的に改修・更新を行う。

(4) 特定施設

No	施設名	総量	竣工年度	経過年数	所管課
1	地下駐輪場 機械式駐輪場	11箇所	H7	22	施設管理課 保全課
2	小岩駅タクシープール	1箇所	H4	25	保全課
3	新川地下駐車場	1箇所	H11	18	
4	新左近川親水公園駐車場	1箇所	H6	23	水とみどりの課
合計		14箇所			

竣工年度は最も古い施設

現状と課題

【現状】

- ・施設毎に委託業者や指定管理者による施設内の巡回点検を実施している。
- ・駐輪場は10年間の補修計画に基づき維持管理費の平準化に取り組んでいる。
- ・排気設備や消火設備等の法定点検は着実に実施している。

【課題】

- ・コンクリートの躯体は、一般的な耐用年数である50年経過後も、公共施設としての安全性を確保して引き続き使用出来るよう、可能な限り延命化を図る必要がある。

管理に関する基本方針

- ・民間管理委託及び指定管理者等の日常点検・巡回により、施設の不具合を早期に発見し安全で快適な施設サービスを提供する。
- ・設備関係は、不具合発生時の施設サービスへの影響や利用者の安全性等を踏まえ、設備の性質を考慮した予防保全型・事後保全型の区分けをして維持管理を行う。
- ・コンクリート躯体及び建屋等の調査・診断を行い、「江戸川区土木特定施設長寿命化修繕計画」を策定し、計画的にコンクリートの劣化対策や設備の大規模修繕等を実施する予防保全型の維持管理を行う。その後も長寿命化修繕計画は5年に1回改訂し、点検結果・補修実績を反映させることで、計画の実現を図っていく。

(5) 水門等

No	施設名	総量	竣工年度	経過年数	所管課
1	水門等（開放）	16箇所	S25	67	保全課
2	水門等（閉鎖）	18箇所	S38	54	
合計		34箇所			

竣工年度は最も古い施設

現状と課題

【現 状】

- ・耐震診断の結果に基づき耐震補強工事を順次実施し、合わせて改修工事を行うことにより施設の延命を図っている。
- ・不要となり供用廃止した水門等については、順次廃止・撤去又は閉塞・部分撤去を実施している。

【課 題】

- ・水門は防災上重要な施設であり、災害時にも施設の健全性を維持するため、早期に耐震対策を完了させる必要がある。
- ・用水の取水及び排水としての役割を終えた施設は、水門閉鎖や水路を中詰め閉塞して供用廃止しているが、引き続き維持管理する必要がある。

管理に関する基本方針

- ・専門技術者による年次点検や職員による定期点検を今後も実施し、不具合箇所の早期発見と迅速な対応に努め、安全な施設機能を継続的に確保する。点検結果は記録・蓄積し、維持管理・修繕等に活用する。
- ・ゼロメートル地帯である本区の治水上の安全を確保するため、水門等は予防保全により常に健全な機能を維持することを前提に、設備の性質を考慮した状態監視型・時間計画型の区分けをして維持管理・修繕を行う。
- ・これまで行ってきた耐震対策を引き続き進め、設計上想定される最大級の地震に対する耐震性能の確保を図る。
- ・供用廃止した施設の取扱いについては、河川管理者と協議の上、決定する。

江戸川区公共施設等総合管理計画

平成29年3月

発行 江戸川区経営企画部企画課
